

【挨拶医療法人明浩会理事長・呉 盛光】

当訪問看護ステーションは、去年十月に大宮市と医師会の強い要請を受け、西大宮病院を経営主体とし運営を開始しました。ご存知の通り西大宮病院は、急性期の病院として広く地域の皆様にご信頼を頂いていると自負しております。しかしながら、



社会的な現象として高齢化時代を迎え、医療提供内容も少しずつその形態が変わりつつあります。私達は、今後も質の高い急性期医療を提供すると共に、在宅医療に対しても傾聴して参る所存です。

皆様のお陰で当ステーションも一年が経過致しました。まだまだ行き届かない点も数多くあることと思いますがこれからもスタッフ一同これまで以上に頑張つて参りますので、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

ステーション所長・高柳 倫子

去年十月八日に開所致しました当訪問看護ステーション・タッチは、皆様のお陰を持ちまして一周年を迎える事ができました。ご利用者様・ご家族の皆様、西大宮病院スタッフの皆様のおかげでご支援に深く感謝申し上げます。私共は、この一年間でおよそ九四名の方のお世話をさせて頂き、また献身的に介護されている多くのご家族の方々にお会いする事ができました。新設ステーションで未熟な私共を育てて下さいましたのはこれらの方々であり、今後も一回毎の訪問からの学びを大切に構築していきたいと思っております。

高齢社会の進む中で介護保険制度も開始となり、多くの方々が将来に不安を抱えている事と思います。様々な疾病や障害を持った方が、安心して自宅で過ごす事ができます様、微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと願っております。まだまだ未熟で至らない点もございますが、研鑽を積んで参る所存ですので今後ともご支援・御指導の程宜しく申し上げます。

### 在宅療養・介護をされている方々より

#### 在宅で看取って

##### 自宅で看取られたKさんの息子さんより

私の父は、平成九年右足の切断手術の後、平成十一年夏過ぎ頃食欲がなくなり痩せてきて、肺癌で肺に水が溜まっていると診断されました。癌の進行も早く高齢なので心配でした。その時先生から「自宅で療養しては」とアドバイスを受け、訪問看護「タッチ」を紹介して頂きました。週三回タッチの訪問をお願いして、身体を拭いたり、床擦れしました。週三回タッチの訪問をお願いして、身体を拭いたり、床擦れ点滴処置など入院している時と変わらない専門的な処置・ケアをして頂き、また先生との間に入って父の症状を報告したり、指示に従って父に治療を施してくれました。お陰様で私達家族は本当に安心して父の自宅介護に専念できました。父は介護の甲斐なく他界してしまいましたが、最後まで自宅で療養できて満足だったと思います。タッチの皆さんのお陰です。本当に有難うございました。今後とも訪問看護のスタッフの皆さん頑張つて下さい。

#### 訪問看護を利用して

##### 利用者Sさんの介護者より

その頃、歩くのも困難になった義父の病院通いは大変でした。そんな時先生より紹介して頂いたのが、私達家族とタッチさんとの出会いでした。訪問看護が始まり、その献身的な看護にはただ頭が下がる思いです。その義父も脳梗塞がきっかけで寝たきりとなり、老いとの戦いが始まりました。介護の経験のない家族は、ただ戸惑うばかりでした。時折体調を崩す義父。その度に私はいつもタッチさんにSOSコールをします。医療の事など全く無知な私に、優しく解りやすく色々教えて下さるので本当に心強く安心して介護出来るのです。その後数回の人退院も気丈に乗り越えた義父は、現在体調も落ち着きリハビリに励んでいます。これも先生を始めタッチの皆さんのお陰と感謝の気持ちで一杯です。義父よ、持ち前の精神力で一日も長生き出来る様頑張りましょう。それが家族の願いですから。タッチの皆さんこれからもどうぞよろしく。

##### 利用者Aさんの娘さんより

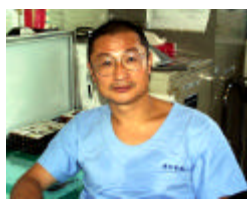
入院治療には限界があり、なす術もなく母や私達家族は、不安とあせりと諦めの交差している状態でした。自宅に戻って母の顔が明るくなりました。入院中は毎日私に通っていたけれど、夜は淋しかったのだらうと思います。少しうつにもなっていました。在宅介護には不安がありました。タッチの方々のおかげでそんな不安も母のうつも共に吹き飛んでしまいました。ただ今、母も私も笑顔の毎日です。

### 利用者Kさんより

平成三年の転倒左大腿骨折以来、去年八月まで三回の手術を受け、退院しても足の痛みが取れず、家の中でも両手で杖につかまり、やっと歩ける程度でした。でも今年七月より、週一回訪問看護で「ハビリ」をやって頂ける事になり、退院当時はもう外へ出て歩く事、できないのかと諦めておりましたが、一週毎に快方に向かい、今では外を自分で散歩する事もできる様になり、本当に有難う感謝しております。

#### 《住診医の紹介》

西大宮病院では、在宅療養中の方々に通院困難な方を支援する為に定期的な訪問診療や緊急時往診を行っております。救急病棟の性格上忙しい病院勤務の傍らで協力して頂いております。



副院長・整形外科医  
関 純先生

手術が多い中、ご協力を頂いております。



内科医  
梶 英夫先生

忙しい中、病院～在宅と飛び回って頂いております。

#### 《介護豆知識》

【老人の皮膚の特徴】 高齢になると皮脂の分泌が少なくなり皮膚の潤いが減少し乾燥感が強く、特に冬場などには、かゆみから掻き壊しによる傷を作りやすいので爪のケアにも配慮が必要です。また逆に、発汗や失禁により皮膚がふやけていると、摩擦による刺激に皮膚は5倍も傷つきやすくなります。

#### 【日常のスキンケアについて】

- \* 熱すぎるお湯の使用、石けん(弱酸性も含む)による洗い過ぎや擦り過ぎは避けましょう。
- \* 入浴や清拭後は保湿クリームで保湿に心がけましょう。
- \* ミネラルやビタミン類を多く含んだバランスの良い食事を摂りましょう。

- \* 汚れたおむつはこまめに替えましょう。
- \* 汗などで湿った衣類は、早めに着替えましょう。

#### 編集後記

私達スタッフ一同はこれからもより良質の看護を提供していきたいと思っております。今後モステーションだよりを通じて利用者様との交流や活動紹介ができれば幸いです。尚、緊急時電話を増設しました。夜間休日等は652 8744へご連絡下さい。